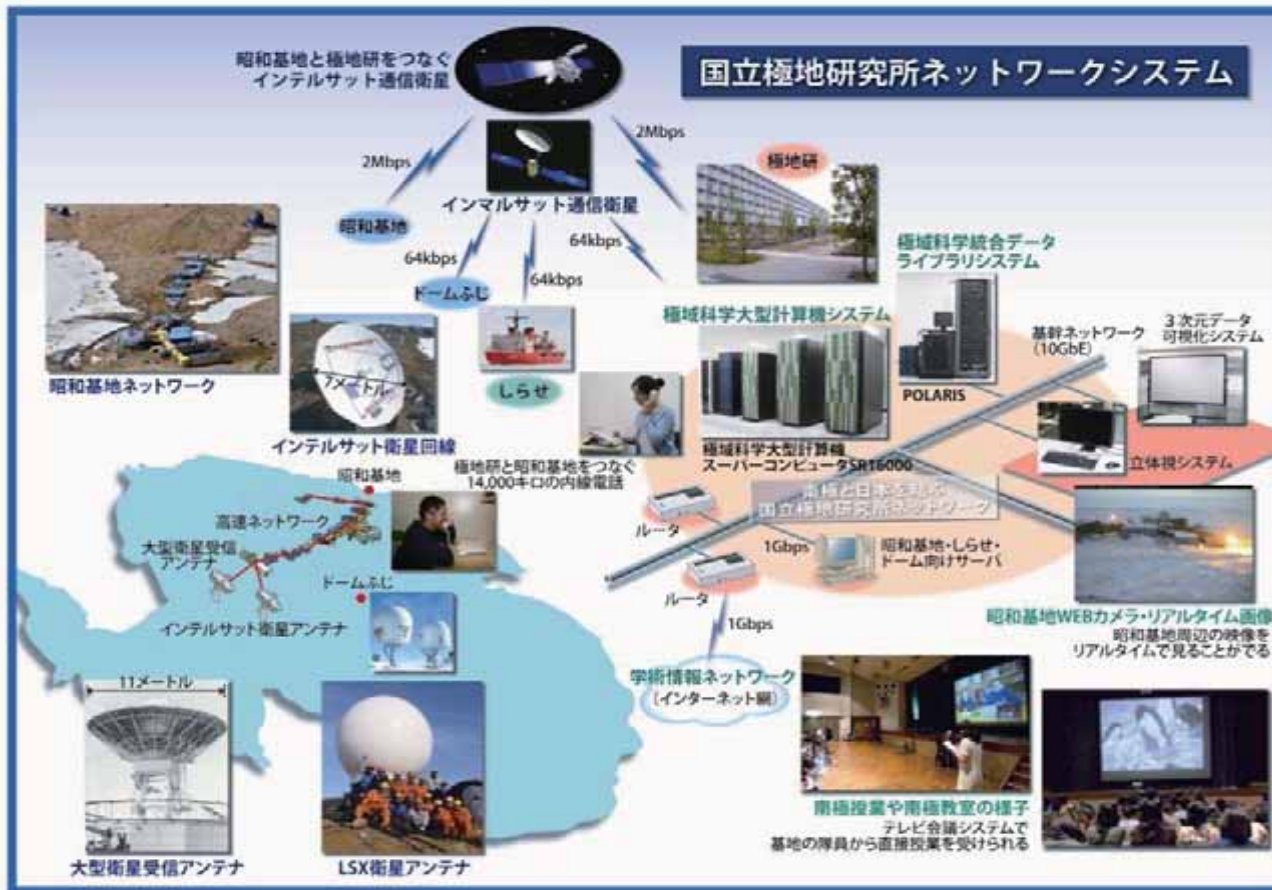


設営計画の概要

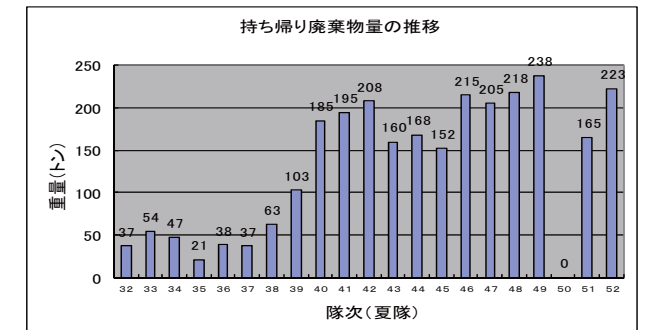
評価結果概要

第50次隊の代替輸送の解決策を探りつつも、「しらせ」後継船就航に伴う輸送システムの整備に力を注いだ。特に、観測船の支援を受けられない期間を考慮して航空機を活用したことは、今後の南極へのアクセス方法として画期的な進歩である。

実績・成果



水上輸送用に導入した雪上車と12ftコンテナ橋
水上輸送時間の短縮に大きく貢献



46次隊～49次隊まで4年間で826トンの持ち帰り実施、基地廃棄物を一掃



10kW風車



55kW分パネル

自然エネルギーの活用

国内—観測船—昭和基地間を一元的に結ぶ統合情報ネットワーク網の構築